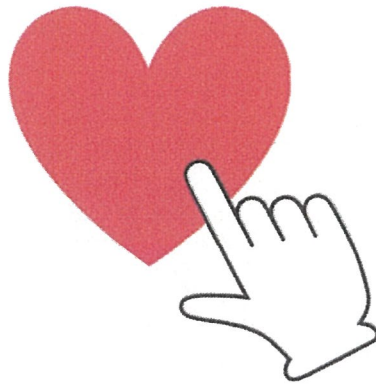


多摩美術大学推薦入試 芸術学科提出課題

「空想の〇〇〇」のプロデューサーとして自由にプランを企画してください。

日本のアニメを支える新たなシステム

# 「スキボタン」の企画書



## 意図

アニメ業界において、アニメーターが低賃金で働いているということは大きな問題です。

現在アニメを制作する際には製作委員会方式を採用するケースが多く、その方法ではアニメ制作会社に還元されるお金は少ないため、アニメーターのもとに渡るお金が少ないという現状に陥ってしまっています。

これは、アニメ業界に迫る危機です。

「アニメーターの低賃金問題」を改善するために発案したのが、「スキボタン」です。

LINE Pay 株式会社がコミュニケーションアプリ「LINE」上で展開するモバイル送金・決済サービス「LINE Pay」において提供している「LINE Pay かんたん送金サービス」を利用して、アニメ制作会社に寄付をすることができます。

ターゲットは10～30代のアニメファンです。

ボタンを設置するのは

- ・アニメの配信サービス
- ・アニメ作品の「LINE」公式アカウント

などです。

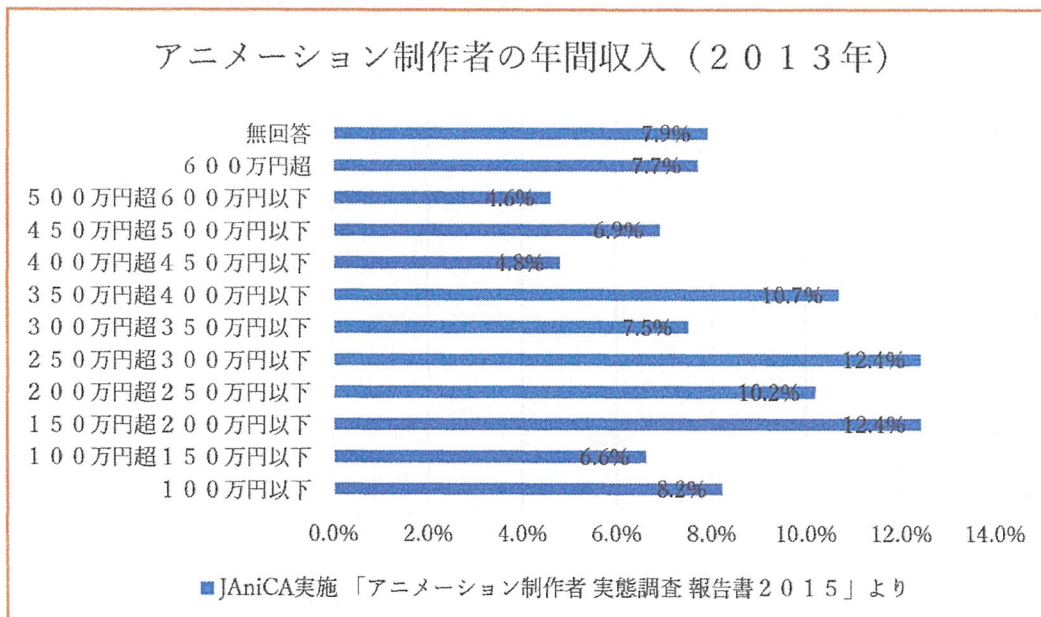
ボタンを1回押すと、最低10円から寄付をすることができます。

金額はもちろん押す回数も自由なので、誰でも気軽に寄付が可能です。

「スキ」だと思ったときにボタンを押すことができます。

「スキ」の気持ちが日本のアニメを支えるシステム、それが「スキボタン」です。

## アニメーターの低賃金問題

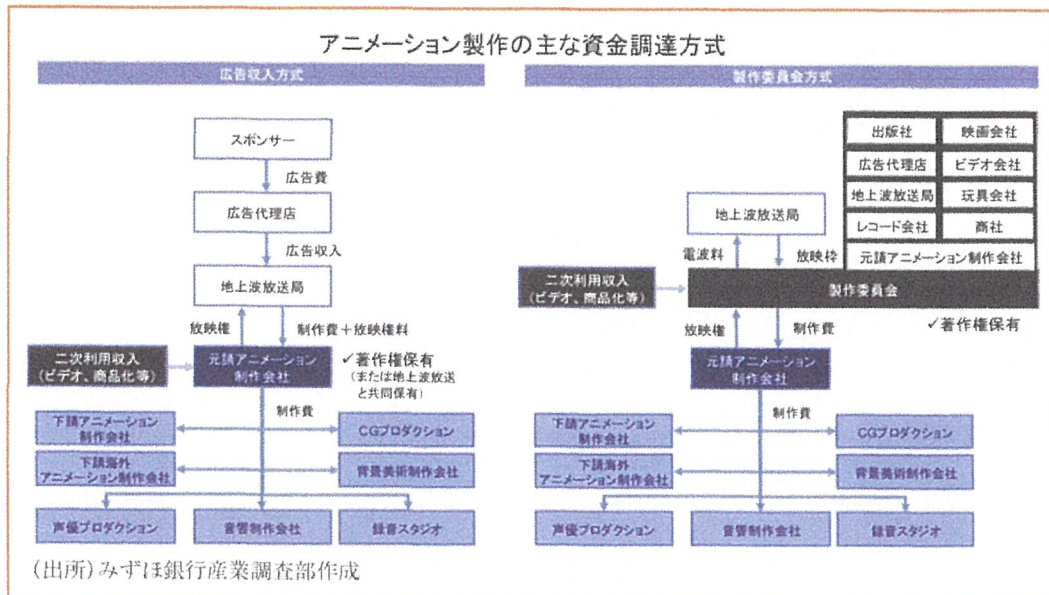


国税庁長官官房企画課（2014）「平成25年分民間給与実態統計調査 調査結果報告」によると、民間の事業所に勤務している給与所得者の1人あたりの平均給与（2013年）は414万円となっており、アニメーション制作者の年間給与は平均332.8万円なので全国平均値と比べると約81万円低くなっています。

中でも動画担当のアニメーターの平均年収は111万円で、月収にすると10万円を切ってしまいます。また入社1年目の新人アニメーターは月収が3万円以下のこともあるそうです。

なぜアニメーション制作者は収入が少ないのでしょうか？

## 製作委員会



1990年代まで主流だった「広告収入方式」は、アニメーション制作会社がテレビアニメ番組を製作する方式で、その著作権はアニメーション制作会社が単独で保有しています。

現在主流である「製作委員会方式」は、製作委員会が深夜帯の番組放送枠を買い取り、放映後の二次利用収入で制作費を回収する方式で、製作委員会がその著作権を保有しています。

「製作委員会方式」は資金調達が容易・リスクの分散や回避・出資社による宣伝がメリットとして挙げられますが、1社あたりの利益が少ないことは大きなデメリットです。

現在、30分テレビアニメの制作費は1話あたり1300～1500万円ほどかかると言われており、1クール（13話）のシリーズなら総制作費は2億円弱かかる計算になります。

しかし製作委員会から支払われる制作費は十分な額でない場合が多く、制作会社が赤字に陥り、結果アニメーターの待遇悪化につながっています。さらに収益は全て製作委員会のものとなるため、制作したアニメが大ヒットした場合でもアニメーターには1円も入りません。

こうした製作委員会の仕組みを変えることは難しいですが、アニメ制作会社にお金が還元される新たなシステムを作ることでアニメーターの低賃金問題を改善したいと考えました。

# 「スキボタン」

## 「スキ」の気持ちがアニメを危機から救う

日本において、アニメが「スキ」なアニメファンは現在3000万人を超えていると言われています。その全ての人がアニメを「スキ」だと感じるとき、アニメを見たり、関連グッズを買うなどしているはずですが、それらの行為で発生するお金はアニメを生み出している制作会社にはほとんど届いていません。今回発案した「スキボタン」は、その気持ちとお金を直接制作会社に届けるシステムです。

LINE Pay 株式会社がコミュニケーションアプリ「LINE」上で展開するモバイル送金・決済サービス「LINE Pay」において提供している「LINE Pay かんたん送金サービス」を利用して、アニメ制作会社に寄付をします。

2019年4月時点で国内の利用者数が8000万人おり、「LINE」利用者であれば規約に同意するだけで登録できる点・手数料が無料である点から「LINE Pay」を選びました。

ターゲット…10～30代のアニメファン

Gz ブレインが発刊した「アニメマーケティング白書2018」によると、若い世代ほどアニメ視聴の比率は高く、また20代アニメ視聴者の約25%が消費に結びつきやすいとされています。このデータから、ターゲットに設定するのは10～30代のアニメファンが適切であると考えます。

寄付金額

寄付する金額は利用者が設定できます。

1回で寄付できる金額は最低10円で、上限はありません。

押す回数は自由なので、一度に寄付することも、「スキ」だと感じるたびに寄付することもできます。



## 寄付までの流れ

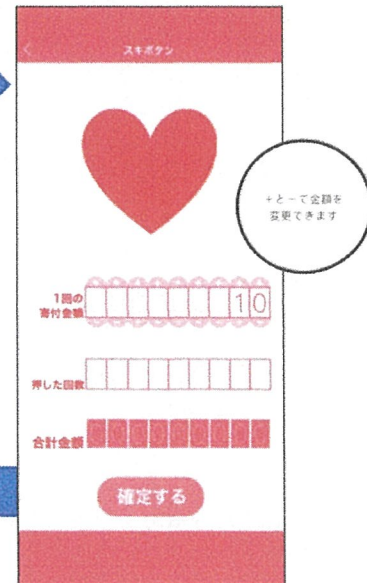
### アニメ配信サービスでアニメを見るとき



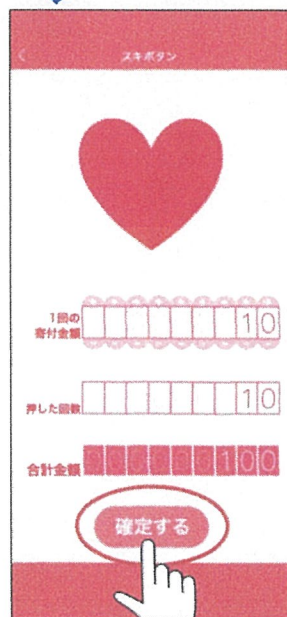
「+」を押して「スキボタン」を開く



アニメを見ているとき  
画面に表示される「スキボタン」を押す



金額を設定

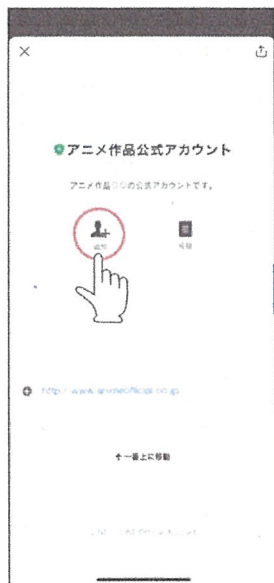


ボタンを開き金額を確認  
「確定する」で寄付完了

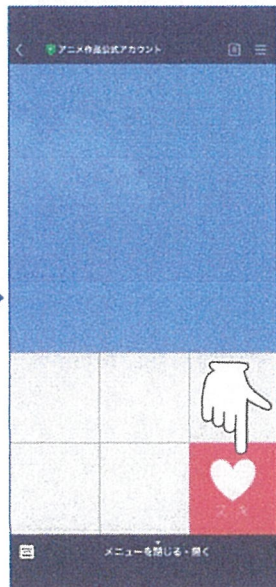


トーク画面に送金  
メッセージが表示される

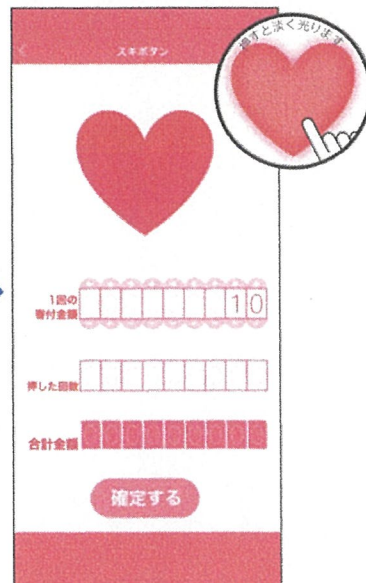
テレビでアニメを見るとき・寄付したいとき



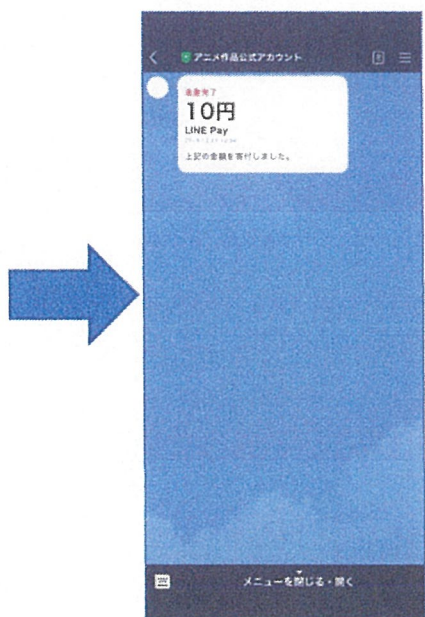
アニメ作品の「LINE」  
公式アカウントと  
友達になる



トーク画面から  
「スキボタン」を開く



金額を設定後  
ボタンを押すと  
回数と合計金額が  
増える  
「確定する」で  
寄付完了



トーク画面に送金  
メッセージが表示される

### 「スキボタン」のメリット

- ・アニメ制作会社に直接送金できる
- ・手数料が無料なので、寄付したお金は全てアニメ制作会社に届く  
→アニメーターのもとに渡るお金が増える→低賃金問題改善につながる
- ・その場ですぐに募金できる

### 実用化する上で必要なこと

- ・アニメ制作会社に、制作したアニメ作品の「LINE」公式アカウントの作成・公式アカウントのトークメニューにボタンの設置と「LINE Pay」の開設を依頼する
- ・各アニメ配信サービスにボタンを設置してもらう  
→例：Netflix/Hulu/d アニメストア/Amazon プライムビデオ/アニメ放題 など

### 宣伝

- ・JR 秋葉原駅/池袋駅の構内にポスターを掲示
- ・アニメイト/ゲーマーズ/とらのあな/まんだらけ/らしんばん  
など全国のアニメグッズ専門店にてチラシを設置・配布
- ・各種 SNS のアニメ作品公式アカウントにて紹介